

# 第3学年 音楽科学習指導案

## 1. 題材名

CD が売れると作曲者はいくらもらえる？～知的財産権を学ぼう～

教材：「願いごとの持ち腐れ」AKB48（秋元 康作詞・内田 栞作曲）

## 2. 題材の目標

### (1) 音楽科としての目標

- 音楽のよさを味わいながら、音楽の知的財産権のしくみを理解することができる。
- 資料の活用や意見交換を通して、知的財産権について当事者として考えることができる。

### (2) 汎用的スキル

- 生活や社会の実態に即した問題を発見し、解決策を考えることができる。（問題解決力）
- 生活の中に関連することがないかを振り返ったり、法律と照らして再認識したりすることができる。（メタ認知力）

### (3) 態度・価値

- 音楽などの作品（著作物）そのものを楽しむ心情を持ったり、作品を生み出す人々へ尊敬や愛好の念を持ったりすることができる。（愛する心）
- 権利や法を知った上で自分や周りの人の行動を省みて、改善をすることができる。（正しくあろうとする心）

## 3. 生徒の実態

中学3年生は社会科の公民的分野を学ぶ、初めの学年であり、生活の中には様々な権利や法があることを意識し始める。また、音楽の嗜好性が色濃くなる生徒が増え、好きな歌手に強く思いを寄せたり、生徒自身の判断で音楽を選び取ったり、コンサートに足を運んだりする年齢になる。近年、音楽の獲得方法は動画配信サイトが多くなっており、いち早く無料で良質な音楽を手にすることができる。違法アプリや海賊版等に対して目にする機会が増える反面、正しい知識や対処方法を知る機会が少ない。そして、生徒を取り巻く環境として、知的財産権に関連するニュースは常に発信されている。

知的財産権について、これまでの授業内で扱われたことはなく、今回の授業で初めて知る。しかし、中学1年生から布石は打たれている。作品を取り上げる際には、はじめに作詞者・作曲者といった「著作者」を必ず確認してから取り組んできた。作った人への敬意を払い、楽譜に付された記号を尊重したり、表現で作者の意図を汲んだりすることにつながってきた。

## 4. 題材について

### ①教科から見た特性

鑑賞するAKB48の曲は、前年（2017年）もっとも売れたCDである。また、授業の中では前年にもっとも使用された曲についても触れる。権利や法に関する知識は、当然教科の本筋ではない。しかし、音楽は知的財産権を知る上で、もっとも身近で導入にふさわしいと言える。音楽から知識や興味を広げて、他に知的財産権に関する別の問題はないかという幅広い思考をしたり、将来的に知的財産権に触れる機会があった時に思い出す基となったりして、音楽がきっかけになればよい。

また、知的財産権は身近である。今年度も、お笑い芸人が使用したBGMの問題やTPPによる著作権保護期間の延長、米中の知的財産権に関する貿易問題等、普段の生活の中に触れる機会があった。さらに、知的財産権は現在、我が国の貿易を支える屋台骨であることを考えても、意識をもたせるにはよい機会である。

### ②汎用的スキルや態度・価値育成の観点からみた特性

知的財産権を知っていく中で、生徒は2つの気づきがある。1つは生徒自身が知らないうちに権利を侵していたことへの気づきであり、もう1つは生徒自身が著作者側であることの気づきである。

1つ目の例として、SNSのアイコンにアイドルやキャラクターの写真を使用していたり、違法のダウンロードのアプリ等を利用したり、非公式な民放テレビ映像等の違法動画を閲覧したりすることである。これらの誤った行動に対して、誤りであったことを知り「どのように改善するのか」また「なぜ改善しなくてはならないのか」という問いを持つ。2つ目に生徒自身も著作者である。誤った認識や行動は、ひいては生徒自身の権利を侵されかねない。「同じ誤りを他の人がしないためには、どうすればよいか」といった問いを持つ。

これら場面が、問題解決力、メタ認知力、愛する心、正しくあろうとする心、に複合的に関わるため、これらの力と心を育成するのにふさわしいと考える。

## 5. 題材計画と資質・能力を育成する主な手立て（全2時間 本時1／2時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を鑑賞して、批評する。</li> <li>・知的財産権の知識を学ぶ。</li> <li>・知的財産権の現状を知る。</li> <li>・資料を活用して、意見をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○愛する心</li> <li>○メタ認知力</li> <li>○正しくあろうとする心</li> <li>○問題解決力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽を形づくっている要素の言葉を使い、批評するためによく聴く場面の設定</li> <li>○権利や法を知る場面の設定</li> <li>○権利を侵していたことに気づく場面の設定</li> <li>○資料から読み取ったり、情報を交換したりして、意見をまとめる場面の設定</li> </ul>

## 6. 本時の学習指導

### (1) 本時のねらい

- ・音楽のよさを味わいながら、音楽の知的財産権のしくみを理解する。
- ・資料の活用や意見交換を通して、知的財産権について当事者として考える。

### (2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
導入 10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">           CD が売れると作曲者はいくらもらえる？         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「願いごとの持ち腐れ」を鑑賞し、音楽を形づくっている要素を用いて感想を述べる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律は短調だが、速度は速いので神秘的である。</li> <li>・様々な特徴の女声の音色があり、箇所によってテクスチャが異なる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇白板で「題名」「作詞者」「作曲者」を明らかにすることで、著作者を明らかにする。(愛する心)</li> </ul>
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知的財産権の知識を学ぶ。</li> <li>○CDの売上数、著作権使用料、印税のしくみを知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・100万枚以上売れているのに、曲を知らない。持っていない。</li> <li>・使用された曲は知っているものが多い。</li> <li>・演奏家に1%は少ない。作詞者・作曲者に各2%は多い。</li> </ul> </li> <li>○実際にCDに触れ、CDを作り出す人たちがいることを知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・CDの歌詞カードに様々な会社や役職名が書いてある。</li> <li>・1枚のCDにたくさんの人たちが関わっている。</li> <li>・CDを売るために、様々な工夫がされている。</li> </ul> </li> <li>○身近に存在する音楽についての知的財産権を知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・CDをコピーして渡している範囲がある。</li> <li>・吹奏楽部の演奏は、条件を満たしているからできている。</li> <li>・音楽を作り出す人たちを支えるための権利である。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇生活の中に関連することがないかを振り返ったり、法と照らして再認識したりすることができる。(メタ認知力)</li> <li>◇日常生活や学校生活の中にある知的財産権に関する場面を、具体的に示して○×クイズ形式にする。(正しくあろうとする心)</li> <li>◆現在の問題と、生徒自身が著作者となる上での問題を、当事者意識をもって記述しているか。(レポート)</li> </ul>
結末 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次回の内容(現在の問題、考えのまとめ)を予告する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で知的財産権を意識してみよう。</li> <li>・自分の行動を知的財産権の観点から振り返ってみよう。</li> </ul> </li> </ul>	